

目標達成計画

作成日: 平成 29年 5月 24日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束について、現在行っている事例は無いが、日常の現場の中で「待って」「静かにして」「動かないで」等、職員から利用者様へ対する、スピーチロックが感じられる時がある	職員全員が利用者様の立場から、接遇・身体拘束の根拠を意識して再確認・研修の実施を通して、日々での会話や接し方をより良いものにしていく	○権利擁護・身体拘束・接遇についての研修実施 ○利用者様体験を実施し、接遇の重要性を実体験してもらう	6ヶ月
2	10	家族様の意見や意向について、関係作りが薄い状況などから、日常の支援で反映しきれていない現状がある	定期的な家族様との関わりを持ち、信頼関係の構築をし、意見や意向の反映に繋げる	○全家族様と、3ヶ月毎の定期的なカンファレンスを実施し、現状報告・意見や意向の抽出に繋げる ○日常の面会時や健康管理での変化時に、状況報告や電話報告を通して細やかな連携を継続する	3ヶ月
3	11	職員からの意向聴取について、定例の会議や雇用更新時等で実施はしているが、会議の場などでは言い出しづらい職員もあり、意見聴取しきれていない状況がある	会議での意見聴取が行いやすい環境作りや、雇用更新時以外での定期的な面談や日々の連携により、職員一人ひとりの思いを反映できる状況に繋げる	○会議で議題提案出来る様に、文明提出による事前の意見聴取で反映出来る環境作り ○定期的な職員一人ひとりの連携・面談により意向聴取を行う	3ヶ月
4	35	現在は災害時・緊急時での対応について、管理側からの指示・連携で対応しているが、管理側が遠方である為、現場での管理側対応が迅速に対応できない環境下である	社員・近隣職員への協力体制を整備し、管理者不在でも災害時・緊急時への対応に支障が無い様にする	○連絡網について、近隣職員・社員の順で修正し、万一時へ体制を整える ○災害時の対応について、管理側のみでなく、社員への教育を実施して、管理側が不在の時でも、円滑で迅速に対応出来る様教育を行う	3ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。